

碧南市地域農業再生協議会 議事録

1 開催日時

令和5年4月25日（火）午後2時から午後2時40分まで

2 場所

碧南市役所7階 議員大会議室

3 現在会員数

会員23名、監事2名

4 出席会員数

会員21名、監事2名

禰冨田 政信（会長）	神谷 昌明（副会長）	市古 昭子	黒田 実
金子 さか江	長谷部 実	山中 力四郎	加藤 浩孝
角谷 正子	鳥居 勝行	原田 孝司	磯貝 孝弘
下島 良一	杉浦 孝明	石川 清勝	近藤 正孝
永坂 邦男	山中 光弘	鈴木 良樹	野村 勝己
生田 和重	藤浦 利吉（監事）	三島 孝二（監事）	

5 出席事務局

事務局長（碧南市農業水産課長）	牧 勝彦
事務局（碧南市農業水産課農政振興係長）	本多 真
事務局（碧南市農業水産課農政振興係主事）	北村 信晃
事務局（碧南市農業水産課農政振興係主事）	近藤 深月

6 オブザーバー

東海農政局愛知支局より3名

7 傍聴人

0名

8 議事とその結果

【事務局】

～本協議会の成立を報告～

【会長】

あいさつ

**【事務局】**

ありがとうございました。規約第13条第2項により、議長は会長とするためこれからの進行は会長よりお願いします。

**【会長】** それでは規約に基づきまして議長を務めさせていただきます。円滑な進行に協力をお願いいたします。まず始めに議事録署名人を選任します。私から指名させていただきます。よろしいですか。

**【会員】**

異議なし。

**【議長】**

それでは今回の議事録署名人は永坂邦男様と山中光弘様をお願いいたします。

**【議長】**

それでは議事に入ります。第1号議案「令和4年度事業報告及び収支決算について」事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局】**

～第1号議案説明～

ここで監査報告をお願いします。

**【監事】**

去る3月27日に監事2名による監査を行いました。

通帳、帳簿等、関係書類を監査いたしました。適正に事務処理がなされていることを確認しましたので御報告いたします。監査報告は以上です。

**【議長】**

ありがとうございました。ただいま事務局と監事からの説明が終わりました。これより質疑に入りたいと思いますが何かご質問等ございますでしょうか。

**【会員】**

2ページに転作協力金の配分額が記載されているが、記載の耕作地権者は何名か。

**【事務局】**

令和4年度の転作協力金の対象者は、166名となります。

**【議長】**

他にございますでしょうか。特段ないということでございますので、第1号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員ということでござい

ますので、第1号議案を承認いたします。続きまして、第2号議案「令和5年度事業計画及び収支予算について」事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局】**

～第2号議案説明～

**【議長】**

ただいま2号議案につきまして説明が終わりました。これより質疑に入ります。何かご質問等ございますか。

**【会員】**

飼料用米の取組を実施するとのことだが、面積や対象者は何名か。

**【事務局】**

飼料用米の取組は、24,200㎡を予定しており、2名のオペレーターの方が作業を担当する予定です。

**【会員】**

11ページに令和5年度の転作協力金について記載されているが対象者は何名になるか。

**【事務局】**

現時点では算出しておりませんが、昨年度は166名、一昨年度は140名程度でしたので、概ね100名台中盤くらい的人数になるかと考えております。

**【議長】**

他にございますでしょうか。特段ないということでございますので、第2号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員ということでございますので、第2号議案を承認いたします。

これで議案につきましては、全て審議を終えましたが、引き続き 3 その他 ということでは何かございますか。

**【事務局】**

～3 その他（令和5年度会議開催予定）説明～

**【議長】**

ただいま事務局からの説明が終わりました。何かご質問等ございますでしょうか。特段ないということでございますので 3 その他 につきましては以上とさせていただきます。また、オブザーバーとして東海農政局の方にお越しいただいております

ので、昨今の状況等についてお話いただけないでしょうか。

【オブザーバー】

～食料・農業・農村基本法の検証・見直し状況等について説明～

【議長】

ありがとうございました。何かご質問等ございますか。

【会員】

参考資料3に大綱のポイントとして、食料安全保障強化のための重点対策のうち(1)において堆肥や下水汚泥の流通拡大等の実施について記載されているが、具体的に国の方で予算措置されていくのか。

【オブザーバー】

国内肥料や資源の活用に向けた事業は、令和5年度において予算化されております。今回制定した大綱に基づいてしっかりと予算についても継続的に確保できるようにしたいと考えております。来年度以降も含めて引き続き国内肥料、資源の活用に向けた政策を展開していくことになろうかと思っておりますので、来年度も本年度と同様に予算化をしていくかと思っております。

【会員】

これらの予算措置について、この管内でどの程度の予算が付くことになるのか。また、全国的にはどの程度の予算になるか。

【オブザーバー】

本日は手元に詳細な予算資料が無く、申し訳ございません。

【会員】

農業委員会視察において5年前に東北地方の農業委員会へ視察に行った際に、現地の農業委員の方と情報交換を行った。その時に農地の最適化利用について話題に挙げたのだが、現地の農業委員会の会長から戦前戦後に山を崩したり、大変な思いや苦勞をして水田を整備してきたのに、政策によって転作等で畑になったりしてしまって本当にこれでよいのか、これで農地の最適化としていいのかという議論になった。また、お米は国内で唯一と言っていいほど自給率が高い作物である。消費量についても以前に比べれば下がっているとかネガティブな面だけで見るとはならず、自分のように子供のころから田んぼに触れあってきた農家の気持ちや新たに水田を作ることが難しいということも考えて事業を検討してほしいと思う。

**【オブザーバー】**

米の需要は、消費量の減少や人口の減少もあり年間10万トン減少している状況にあります。その中で需要に見合った米の生産ということで、今回の会議においても生産数量の配分をしていただくということになるかと思います。今年は昨年と同程度の作付ということになるとは思いますが、年間10万トンの需要減少という状況から、これを維持し、また農地を守るという観点から考えると輸出促進についても実施させていただいております。農地の面では今後2年間をかけて地域計画を策定される中で、担い手も含めて農地を今後将来どうしていくかを、地権者も含めて地域に理解を得ながら持続可能な農業をどのようにしていくかを考えていただければと思いますので、是非ともよろしく願いいたします。

**【議長】**

ありがとうございました。他にございますでしょうか。それでは、以上をもちまして碧南市地域農業再生協議会を閉会いたします。慎重な審議をありがとうございました。

～午後2時40分 終了～